



○日本大学教育憲章

総合大学として育む人間像を明らかにする憲章。「日本大学マインド」を有する者の育成を謳っており、そのマインドとは「日本の特質を理解し伝える力」「多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力」「社会に貢献する姿勢」から成る。マインドを醸成するには「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」という3つの要素と、8つの能力の修得が必要とされ、日本大学の各学部・学科のカリキュラムでは、専門教育及び教養教育を通じて、この8つの能力を獲得できる教育を実現している（右図参照）。

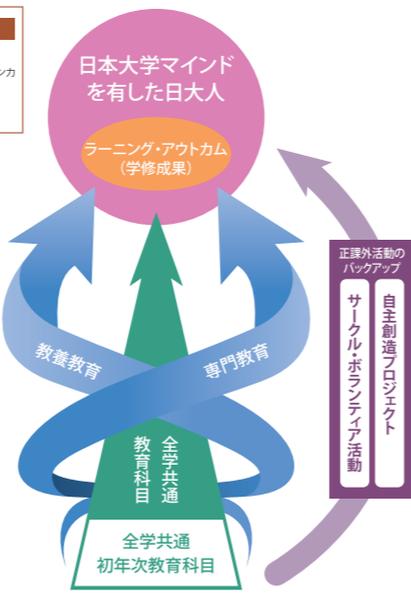
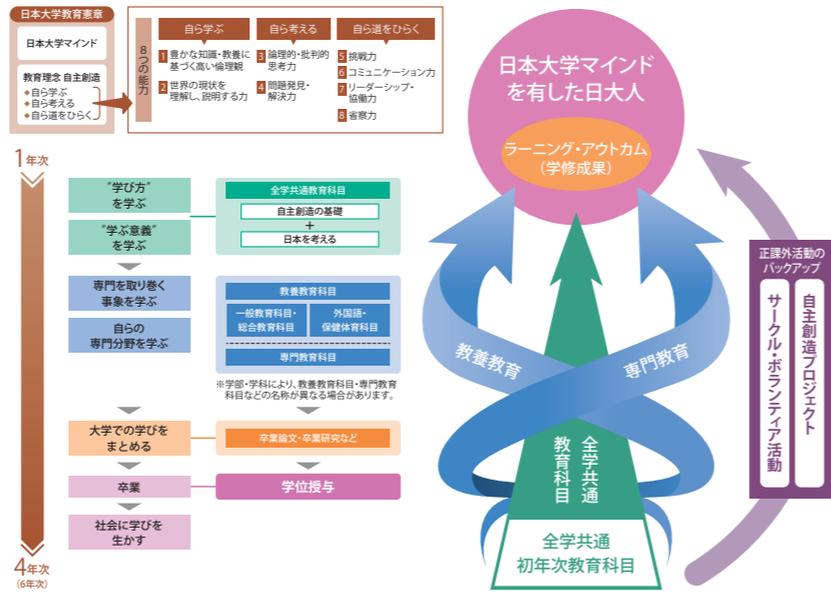
○数字で見る日大の強さ

- ▽きつとあなたにぴったりの友人や学問との出会い・出会いがあります
- 学部学生数（1位） **67,285人**（令和7年5月1日現在）
- 学部・学科数 **16学部86学科**
- 専任教員数 **2,469人**（令和7年5月1日現在）
- ▽どここの職場にも日大の先輩が!
- 社会に出るとき心強さを実感
- 卒業生数（1位） **1,282,664人**（令和7年3月現在）
- ※日本大学ホームページ情報公開より
- 国家公務員一般職合格者数（6位） **169人**
- 都道府県・市区町村職員採用（1位） **531人**
- 社長数（1位） **20,248人**
- ※「日本大学 2026年度進学ガイド」より



オーストラリアのニューカッスルキャンパス。留学プログラムや研修など、学生の国際的な学びと経験を後押しする日本大学初の海外拠点

「自主創造」を実現する8つの能力を育成するカリキュラム



することで学生は自らの学びの意義について理解を深めています。データ駆動型教育で個別最適化した教育を実現

約6万7000人に及ぶ学生数、約2500人の専任教員数など、日本大学のスケール感はさまざまな数字の中に表れています（欄外「数字で見る日大の強さ」参照）。「学生数の多い大学をマンモス大学と称する時代もありましたが、データ分析などの技術のフェーズが大きく変わり、現代では『数』こそがイノベーションを起こす最大の力となっています。入学から卒業、さらには就職後のキャリアに至るまで、各学部で散在していたデータを集約分析することで、本学だけでなく、日本の学びがどのように動いているのか、また今後どう展開していくべきかが分かるようなシステムを構築していきます」（大貫学長）

こうした「データ駆動型教育」を実現するため、日本大学では学情把握・分析基盤「DICAS」を

構築。本部と各学部・付属校が所有するデータの一元化を進めるとともに、学びに関するあらゆる情報の「見える化」を図るため、北米のデータ分析プラットフォームである学修管理システム（LMS）を導入。特にLMSに関しては、全国に広がる日本大学の付属校でも導入し、学生・生徒一人ひとりに最適化された学びのサポートを長いスパンで展開できるように取り組んでいます。

さらに、こうした教育プログラムと正課外活動を通して学生がいかに成長できたかは、能力や行動特性などを客観的に測定するアセスメント・テストにより可視化します。これにより、コミュニケーションスキルや課題発見力、計画立案力など、在学中に自らの強みや弱みを把握し、目標に向けて計画的に学修を進めることができるのです。

「本学の代表的な研究プロジェクトのひとつに、日本大学災害研究所サイエティ（NIDS）があります。ここでは、予期せぬ自然災害のリスクに対し、地域に役立つ災害避難システムの開発に取り組んでいます。医療分野では、患者自身の脂肪細胞から作製する『DFAT（脱分化脂肪細胞）』による再生医療が注目を集めています。宇宙工学のノウハウと芸術学部の創造力を掛け合わせた融合研究である『NU COSMIC CAMPUS』なども、本学ならではの壮大なプロジェクトと言えるでしょう」（大貫学長）

また、「公務員に強い日大」で知られるように、対策講座や卒業生によるセミナーが充実しており、都道府県・市区町村職員採用数は531人で全国1位。中学校・高等学校教諭就職者数も全国トップクラスで、一級建築士合格者数も平成26年度から連続1位を誇っています。

「本学のキャリア支援はとても充実していますが、その背景にあるのは、約128万人に及ぶ校友のネットワークです。政界から芸術、芸能、スポーツの分野まで、本学の卒業生はさまざまなシーンで活躍していますし、社会に出たときに、そうした校友のつながりはとても心強く思えるでしょう。さまざまな人々が集う本学で視野を広げ、Society 5.0の中で異分野をつなぎイノベーションを起こしていきましょう」と、大貫学長はエールを送っています。



おおめきしんいちろう 大貫進一郎学長
1991年日本大学理工学部電気工学科卒業。2000年同大学大学院理工学研究科電気工学専攻博士後期課程修了。専門はエレクトロニクス・シミュレーション。イリノイ大学電気コンピュータ工学科客員准教授、日本大学理工学部教授などを経て、22年学校法人日本大学理事、日本大学副学長。24年4月より現職。

1889（明治22）年創立の日本法律学校を前身とする日本大学は、16学部86学科、大学院および短期大学部、通信教育部を擁し、人文・社会科学分野から自然科学、医歯薬、芸術・スポーツ系まであらゆる学問分野を網羅する、わが国最大規模のスケールを誇る総合大学です。

高度化・複雑化が加速する現代社会では「イノベーションを起こせる人材」が求められています。自身の専門分野を持つことはもちろん、多様な人々とディスカッションをし、コラボレーションすることによって、これまでにない新しい「もの」「こと」を創出できるようになるのです。認定こども園から大学院まで約10万の在学学生を有する日本大学は、世界でも数少ない特徴をもつ総合教育機関であり、多様性の宝庫でもあります。この卓越した環境の中で「自主創造」という教育理念を実現し、Society 5.0をリードするイノベーション人材を育成します。

日本大学

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 広報課 TEL 03-5275-8132 <https://www.nihon-u.ac.jp/>

あらゆる学問分野を網羅した屈指の総合大学 教学DXで個別最適化した教育の実現へ、世界最大級の「データ駆動型教育機関」を目指す

屈指の規模を誇る総合大学 学部間の連携・接続を推進

岩倉使節団による欧米視察からの帰国後、日本の風土に合った法律の整備の必要性を唱えた司法大臣・山田顕義により1889（明治22）年に創立された日本法律学校を前身とする日本大学。今日では16学部86学科、通信教育部、短期大学部、大学院を擁する国内最大の規模を誇る総合大学に発展しています。

「本学は文系・理系・医歯薬系から芸術・スポーツまであらゆる学問分野を備え、卒業生は約128万人に及びます。キャンパスも都内だけでなく、福島から静岡まで各地に拠点を有し、付属校を含めると知のフィールドは全国に広がっています」と、大貫進一郎学長は語ります。

しかし、日本大学は単に各学部が独立した知の集合体ではありません。大学の果たす重要な使命の一つに地域貢献があり、日本大学ではこれまでも地域や自治体の多様なニーズや課題に対し、共同研究などを通じて大きな貢献を果たしてきましたが、

イノベーションを創出する次代の「H型人材」を輩出

「今後は本学の豊富な学問分野に横串を刺していきたい。すでに、研究面では複数学部による大型の研究プロジェクトが走り出していますし、教学DX（デジタルによる教学変革）を推し進めることで、分散型キャンパスがメリットとなるようICTにより学部・キャンパス間の有機的な連携、接続を図っていきま」と大貫学長は説明します。

「いま、社会で求められているのはイノベーションを起こせる人材です。これまでになく新しい『こと』や『もの』を創出するためには、自身の専門性を高めるのはもちろん、他分野の人々と対話し、連携することが不可欠です。こうした『H型人材』を輩出する場として、日本屈指の総合大学である本学は多様性の宝庫であり、在学中にイノベーションの素地をつくることのできる、世界的にも数少ない教育機関であると自負しています」（大貫学長）

日本大学は開学以来、各学部とも実学を旨とし、「ものづくり」「ことづくり」の実体験を重視したカリキュラムは高い評価を受けてきました。多種多様な分野の専門を極めた約2500人の個性豊かな教員スタッフが提供する日本大学の教育プログラムは、日本大学教育憲章に則り、日本大学マインドを有する人物の育成に必要な不可欠な8つの能力



学部創設100年を迎えた医学部（東京都板橋区）。現在、キャンパス整備が着々と進んでいる